

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	音楽劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	トクヒ) カンサイゲイジユツシンコウカイ カンサイカゲキダン		
	制作団体名	特定非営利活動法人 関西芸術振興会・関西歌劇団		
	代表者職・氏名	理事長 湯浅 契		団体ウェブサイトURL
				https://www.kansai-opera.co/
	制作団体所在地	〒 534-0025	最寄駅(バス停)	京橋駅(JR・京阪・大阪メトロ)
		大阪市都島区片町2-4-14 TAKUTOビル7F		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	2006年6月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		理事長 湯浅 契 理事 22名(内部・外部) 監査役・評議員	関西歌劇団・団員 (音楽大学卒業者、またはそれと同程度の実力がある方。)	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	三角 恵子
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	中島佳子
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		kaps@pro.odn.ne.jp		0648018185

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	【特定非営利活動法人 関西芸術振興会・関西歌劇団】 昭和24年関西歌劇団の前身となる関西オペラグループを設立 平成18年2月関西芸術振興会設立 同年6月特定非営利活動法人として認証・登記 平成29年10月法人名を特定非営利活動法人関西芸術振興会・関西歌劇団に改称(同月26日登記) 昭和24年に故・朝比奈隆を中心に設立された関西で最も歴史のある「関西歌劇団」の運営および公演・演奏会の開催。 若手歌手他を対象にオペラ歌手の研修事業を実施するほか、一般の方を対象にしたオペラ教室、合唱クラスを開講。 関西唯一のクラシック音楽専門紙、関西音楽新聞(Classic Note・月刊)の定期刊行も行っている。	
	学校等における公演実績	2018年10月24日 平成30年度県民芸術劇場 兵庫県立大学附属高等学校公演 関西歌劇団 Foto Opera 「惚れ薬騒動にて候」 ～オペラ愛の妙薬より～ 2019年11月13日 神戸市立摩耶兵庫高等学校 芸術鑑賞会 神戸文化ホール大ホール 関西歌劇団 Foto Opera 惚れ薬騒動にて候 ～オペラ「愛の妙薬」より～ 2022年6月7日 淳心学園 芸術鑑賞会 アクリエ姫路中ホール 関西歌劇団 ヴォーカルアンサンブル《ノスタルジア》によるコンサート 2023年度 令和5年度学校巡回公演 オペラ《サンドリヨン》 8校 2023年10月11日 兵庫県宝塚市立山手中学校 芸術鑑賞会 《カルメン:ハイライト》 2025年度 令和7年度学校巡回公演 オペラ《サンドリヨン》 11校	
	特別支援学校等における公演実績	2022年10月7日 福井県美浜町小中学校アウトリーチ 美浜町立美浜中学校・福井県立綾南東特別支援学校 関西歌劇団 ヴォーカルアンサンブル《ノスタルジア》によるコンサート	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.kansai-opera.co/	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添 なし

【公演団体名 特定非営利活動法人 関西芸術振興会・関西歌劇団 】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○		
		小学生(高学年)	○	中学生	○		
	企画名	シンデレラの物語を オペラで鑑賞しませんか？					
	企画のねらい	オペラって何？ 児童・生徒にはほぼ馴染みのないものです。オペラは日本語で歌劇の事、歌って劇をする事をお話し、オペラは難しく無いですよ！と伝える為の工夫をして、オペラに出会っていただきます。『シンデレラ』という馴染みのある物語で、美しいフランス音楽により、それぞれの役の感情を表現し、そして「生の声」を聞き、日本語での演奏で更に身近に感じ、音楽の興味、関心へつなげ音楽活動に発展する事を目的とします。					
	演目概要・演目選択理由	義母伯爵夫人と二人の娘が、王子の花嫁を選ぶ舞踏会に出掛けるのを見送るシンデレラ。名付け親の妖精が魔法でシンデレラにドレスを纏わせ、夜の12時までに帰るよう伝え舞踏会へ送り出します。舞踏会で王子とシンデレラは恋に落ちますが、12時の鐘に慌て逃げ去り片方のガラスの靴が脱げてしまいます。義母達から舞踏会での様子(嘘)を聞いたシンデレラはショックを受け、家を出ます。魔法の森で彼女を探す王子に出会い、二人は魔法の眠りにつきます。森で父親に見えられたシンデレラは全て夢だったと絶望しますが、王子がガラスの靴の娘を探していると知ると、宮殿に赴き王子の前でガラスの靴を履き、二人は再会を喜びます。 馴染みのある童話『シンデレラ』とマスネ作曲の素敵な音楽、そしてフランス語のオペラを日本語の訳詩にて公演する事で、少しでも身近に感じて頂ければと考えました。 毎日掃除をして灰だらけの娘が、妖精によって王子様と結婚する。夢のようなハッピーな演目です。鑑賞のみならず、合唱で児童・生徒が参加出来ることも選択理由です。豊かな経験になればと考えました。 役柄による声域の違いや、それぞれの役を音楽と演技で表現している所を鑑賞しもらい、登場人物の気持ちになり喜びや悲しみを感じ取って頂きたいと思います。					
	児童・生徒の参加または体験の形態	シンデレラが変身する所で小妖精たちの歌唱部分があります。「お城に行きなさい」・「だいじょうぶ」と、気持ちの後押しをし歌う場面です。小妖精達と共に参加し声を合わせることににより、自らが物語にとけこみ、協調性の面でも豊かな経験となり将来へ繋がると考えます。音源と楽譜をお送りし、ワークショップで歌唱練習をし、本公演に参加していただきます。					
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	500			
			鑑賞人数目安	500			
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目 オペラ『サンドリオン』ハイライト (今回は子供達にも分かるように、オペラ『シンデレラ』ハイライトとします。) 原作 シャルル・ペロー 「シンデレラ」 作曲 ジュール・マスネ 指揮 栗辻 聡 演出 井原広樹 ・ワークショップで練習した曲の成果発表 ・公演で一緒に歌う合唱部分を、指揮者の合図により歌い始めるという練習します。 ・『シンデレラ』オペラハイライト 公演(一緒に歌う所では、指揮者の合図に加えて児童・生徒達のそばでも合図を送ります) ・休憩 ・出演者の紹介 ・質問コーナー ・アンコール曲を1曲歌います。					
	公演時間	60	分				
出演者	指揮者: 栗辻聡 ソリスト: 梨谷桃子、松浦綾子、堀口莉絵、蒔田奈々穂、栗津綾乃、伊藤友祐、近藤勇斗 合唱: 塚本真帆、藤原英恵、長谷川弥紀、杉中陽菜、杉本彩葉、二俣結貴 ピアニスト 梁川夏子若しくは中谷友香 (ワークショップ・本公演と多岐にわたる為) 司会: 湯浅契						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	栗辻 聡 オーストリアのグラーツ国立音楽大学・スイスの国立チューリヒ芸術大学に留学。 2015年 ロプロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクール第2位。奈良フィルハーモニー管弦楽団正指揮者 井原広樹 ロームミュージックファンデーション奨学生として、文化庁在外派遣研修員としてイタリアへ。ローマ歌劇場ほか多くの劇場にて『夕鶴』『蝶々夫人』『トゥーランドット』等、数多くの演出を行う。メキシコや韓国でも演出を手がける。 演出作品が文化庁芸術祭賞大賞、大阪文化祭賞、兵庫県芸術奨励賞、佐川吉男音楽賞、三菱UFJ信託音楽賞奨励賞等数々を受賞。 堀口莉絵 2007年 国立フライング音楽大学リト・オトリオ科、オペラ科卒業 芸術家国家資格取得 2008年 長江杯国際音楽コンクール 一般の部 1位 2010年スイス国立ベルン音楽大学院 オペラスタジオ卒業						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	16	名	運搬	積載量:	1	t
	スタッフ:	8	名		車 長:	5380	m
	合 計:	24	名		台 数:	1	台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		有	前日仕込所要時間		2	時間程度				
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出				
	8:00	8:00～10:00		13:00～14:40	10	15:00	16時30分				
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。										
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。</small>	6月	7月		8月		9月					
	15日	0日		0日		0日					
	10月	11月		12月		1月					
	20日	20日		10日		15日					
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計		80日					
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し</small>	妖精の魔法でドレスをまとったシンデレラ小妖精と共に。										
	妖精の魔法の馬車でお城に向かうシンデレラ(動きます)										
	魔法の森に来た王子とシンデレラ妖精が魔法を解き二人は会いが...										
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし		該当コンテンツ名						
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況						

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 特定非営利活動法人 関西芸術振興会・関西歌劇団】

ワークショップの内容

ワークショップのねらい

児童・生徒にオペラ歌手の生の声(マイクは使いません)を聞いて頂きます。歌手が体を使って出した声がどのようなものかを知っていただき、ソプラノ・メゾソプラノ・テノール・バリトン、4パートの声の違いも間近で聞いてもらいます。アンサンブルの楽しさや美しさも感じて頂き、その上で呼吸・発生の大切さ・歌唱の楽しさを学んでいただけるように導きます。また、本公演に興味を持って頂けるように、あらすじやオペラの説明を丁寧に行い、本公演で一緒に歌って頂くパートの歌唱指導を行う事で、コミュニケーションを取り一体化を深め『シンデレラ』公演への楽しみに繋げて参ります。

児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

1クラスか2クラス
又は、40名ほど

ワークショップ実施形態及び内容

標準:90分で行います。

バリトン歌手が『カルメン』の闘牛士のアリア歌いながら登場。

挨拶の後

①アンサンブルにて1曲「鈴と小鳥とそれから私」金子みすゞ作詞・石若雅弥作曲 を歌わせていただきます。

次に、ソプラノ・メゾソプラノ・テノール・バリトンの声の違いを、「かえるのうた」にて紹介。

②児童・生徒たちに、呼吸法、姿勢、発声の説明を致します。実際に児童・生徒たちに体験していただき美しい声を出す方向へ導きます。

例として

折り紙を用いて、児童・生徒たちが呼吸練習の時に、吐く息によって折り紙がどのような動きをするか? 体験していただきます。次にソリストの折り紙との動きの違いを見ていただきます。

息を出せば声が鳴る事を話し、児童・生徒たちに発声方法を学んでいただきます。

変声期の生徒さんにも対応いたします。

③事前に各校にお伺いしている、練習曲を練習します。(1~2曲)

言葉の大切さと歌詞に込められた意味、声を出すことの楽しさと、歌唱で大切な協調性等を学んでいただきます。

休憩

④本公演に興味を持って頂けるように導きます。

「シンデレラ」本公演に興味を持っていただけるよう、「オペラ」についてや物語の説明、登場人物についても説明いたします。

シンデレラの「小妖精」の合唱部分を生徒さんに事前に練習していただき、ソリストと共に歌の練習をします。

⑤ソリストに、シンデレラの公演で歌われる歌をフランス語で歌ってもらい、児童・生徒たちにそれぞれの配役を当ててもらいます。

質問形式にすることで登場人物の歌をしっかりと聞くことにもなり、本公演への興味・関心に繋がると考えます。

⑥質問コーナー

児童・生徒たちからの質問に答えさせていただきます。

⑦最初に歌わせて頂いた「鈴と小鳥とそれから私」をもう一度歌いますが、作曲者(弓削田健介作曲)が変わると、歌詞(金子みすゞ作詞)が同じでも、雰囲気はこんなにも変わると言うことを実感してもらいます。この曲は振付をして、体も動かして歌唱していただき、音楽の楽しさを再確認してもらいます。

その他ワークショップに関する特記事項等

シンデレラの本公演で参加して頂く箇所の音源と楽譜を事前に送らせていただきます。

③の歌唱指導の曲については、事前にご相談させていただきます。(校歌・ふるさと・翼をください等)

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 特定非営利活動法人 関西芸術振興会・関西歌劇団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
会場の設置階の制限	条件なし		主幹引き込み電源容量		100	A以上
舞台設置面積	間口	10～15	m	奥行	4～5	m
	高さ	5～8	m			
舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応		可
搬入間口の広さ	幅	1.8～2	m	高さ	1.8～2	m
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否		有無のみ確認したい	
ピアノの使用について	必ず使用する		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			m以内
搬入車両の種類	ハイエース		台数	1 台		
搬入車両の大きさ	車幅	1.88	m	車長	5.38	m
備考						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

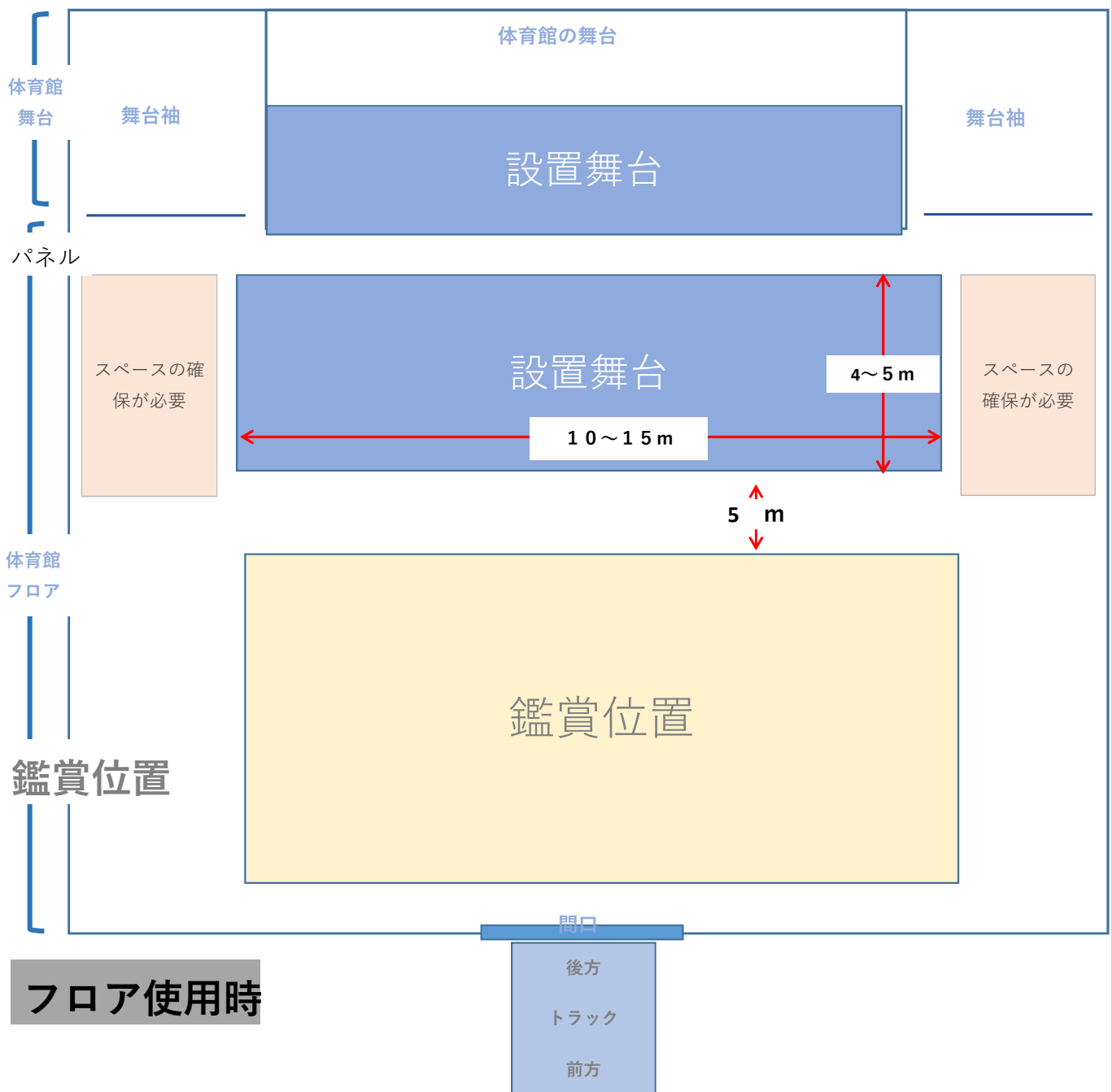
時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	時間がある時	ワークショップ前後、各自(休み時間等にて練習)学校側で放送等で歌を流して頂き練習。	シンデレラがお城に行くのを後押しする歌の一部と、最後のお話はこれで終わりますの所(合計で4か所、2～3分程度)	事前に楽譜と音源データをお送りいたします。
ワークショップ						
本公演						
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	公演が午前となる場合、前日の放課後仕込み(搬入)を行います。その際仕込み(2時間程度)が可能な開始時間を知りたい。
	2	舞台両サイドの倉庫の備品は可能な限り片づけて頂きたいです。
3	舞台上の備品は、可能な限り降ろさせていただきます。またピアノは舞台上でしょうか？	

(任意) 会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名 特定非営利活動法人 関西芸術振興会・関西歌劇団】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

馴染みのない「オペラ」に入門するにはまずは楽しんでもらう事だと考えます。

「シンデレラ」という親しみのある演目を公演することで、オペラを少しでも身近に感じていただき、美しい音楽やきれいなドレス、照明等で舞台が一段と華やかになる様も感じていただけたらと思います。

このような工夫により児童・生徒たちには興味を持って「オペラ」を観ていただけるのではないかと考えます。

オペラ公演ではマイクは使用しません。生の声とピアノのオーケストラのような音楽表現に触れて、指揮者の指揮により物語が進行して行くことを知ってもらい、感動と共に豊かな想像力を養い、音楽への興味を持ち、将来の音楽家育成に繋がたいと思います。

また、事前に練習していただいた曲をプロと一緒に歌ったり、指導してもらったりする事でコミュニケーション能力が身に付き、音楽に対する興味が膨らむ事を期待しております。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

先ずは、学校の担当者の方とお話させていただきます。

学校側の要望をお聞きし、当方のワークショップの内容並びに公演内容をお伝えし、今回のメニューを決めていきたいと考えております。

ワークショップでは、児童生徒にオペラ鑑賞をより良く理解していただく為に、事前に「オペラ」の歴史やストーリー、登場人物等を紹介させていただき、興味を持って鑑賞出来るようにに繋げていきます。

本公演で参加して頂く曲(簡単な曲、4か所)に関しまして、楽譜と音源を学校にお送りし、練習して頂きます。ワークショップにてプロと一緒に歌い、指導し仕上げていきます。

ワークショップの際に、体育館並びに控室を拝見し導線の確認。

本公演前に児童や生徒と顔を合わせないように、時間配分の工夫。

ワークショップでの確認を舞台関係の方との共有し、本公演での舞台の問題点の洗い出し、解決。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

日程調整の時点で、学校の担当者の方と差しさわりの無い程度に連絡を取ります。

決定した時点では、学校側の担当者が転勤等で変わられているケースが多々あるので、巡回公演の主要部分の説明を行い、こちらからの質問事項(エクセル)の一覧をお送りし、回答をお願いします。

次にワークショップ並びに公演の大まかなタイムスケジュールをお送りし、ワークショップと公演の時間等を決めてまいります。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

学校の担当者とお話させていただきます

・光や大音響に対し苦手な児童・生徒への配慮を検討させていただきます。

・参加が困難な児童・生徒に関しても学校側の要望を受け入れ、こちらからも提案させていただきます。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップや本公演でオペラに触れ、音楽に興味を持って頂けた児童・生徒さんもらっしやと思いますので、当団ホームページの巡回公演に、質問等を受付けるコーナーの設置を考えております。